



## 「起業体験学習」⇒ふるさとへの誇りと愛着の高まりへ

玖島中では、2年生が「起業体験学習」に取り組んで4年目を迎えます。現3年生も昨年度取り組みました。5つの会社を継承してうえで企業理念を明らかにし、株主募集会や総会、商品の構想から開発、販売等を展開しました。その中で利益をどのように地域に還元するかを自分たちで考え、様々な方法をとりました。

会社「Protagonist」が、絵本を寄贈した保育園の職員の方々や園児さんから3月21日付けで以下のようにお便りをいただいていますので、遅くなりましたが紹介します。

(前略)先日は子供たちのために9冊もの絵本を当園に寄贈していただき、ありがとうございました。生徒さんが直接持って来てくださったので、園庭にいた子供たちや保護者の皆様に紹介させていただきました。子供たちはもとより職員一同重ねて心から感謝いたします。(後略)

また、右上の書類は、3月28日付けで日本赤十字社長崎支部長大石賢吾(県知事)様から届いたお礼状です。このことについては、先日「広報おおむら5月号、みんなのひろば」にも右のとおり紹介されました。園田市長様に直接手渡しをお願いをした義援金が県の方へ届けられ、このような形でお礼状として届いたということになります。5社全ての会社の利益から義援金として寄贈しました。能登半島地震災害による被災者の皆様のために有効活用され、1日も早い復興の一助になれば生徒たちの思いも果たすことにつながると思います。



もう1つの写真は、会社「ラクト」が、鈴田小学校へ寄贈する校旗ができあがったときの写真です。このことについては、「校旗が古くなってきている。」という兄弟の会話の中から、この寄贈についての発想が生まれたと聞いています。後日、鈴田小学校へ届けに行くことになっています。

その他にも、会社「Cherry Sage」が、大村市観光コンベンション協会へ寄付金を、会社「OmuLove」が、大村市ふるさとづくりへ寄付金を、会社「tribus」が、三浦住民センターへ備品を寄贈することとしています。また、国道34号線から玖島中学校へ上るところに玖島中の看板がありますが、この看板の腐食が激しく、その補修費用として5社全ての会社の利益を活用することも決めています。地域や保護者の皆様に支えられながら繰り広げております「起業体験学習」を、コミュニティ・スクールの目標と位置づけている『「住み続ける」』『戻って来る』『愛し続ける』ふるさとに『誇りと愛着』をもつ人づくり』の実現に向けて今後とも取り組んでいきたいと思ひます。保護者や地域の皆様のご理解とご協力、そしてご支援を今後ともよろしくお願ひいたします。

### 5/19(日):体育大会へ向けて『13日(月)から体操服登下校も可』とします。

いよいよ週明けから、19日(日)の体育大会に向けた取組や練習、そして準備等に拍車がかかる週となります。週行事でもご覧のとおり、学年練習やブロック練習、全体練習、そして総練習と続いていきます。そのため、体操服から制服、制服から体操服への着替えをなくすことで、より能率や効率を上げたいと考えています。給食配膳等の衛生面は、ほこりや砂をきれいに叩き、洗い落としううえで、ジャージ(上)を着て行きます。ご理解とご協力をお願いいたします。

### 飛耳長目

「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」という言葉があります。努力する人は未来に夢を描き希望を語るプラス思考の人、怠ける人は後ろを向いて不満ばかり言うマイナス思考の人だということです。例えば、自分の悪口を聞いた時、「ちくしょう、頭に来た」と受け取るのはマイナス思考の人。「自分をちよつと見つめ直そうかな」と受け取るのはプラス思考の人。実力や確認テストの点数が振るわず、「自分はダメだ、勉強するのはやめた」というのはマイナス思考の人。「授業や家庭学習に真剣に取り組もう」というのはプラス思考の人。生徒会や学級の委員、係となつて「皆のために働くなつて嫌だな」というのはマイナス思考の人。「経験できないことを勉強できる。新しい経験に挑戦してみよう」というのはプラス思考の人です。プラス思考で楽しさや喜び、希望を語る人になるか、マイナス思考で苦しさや憂い、不満を語る人になるか。中学校三年間の残り時間を大事にしよう。